

無所属 品川区議会議員

西本たか子通信No.84

change!

～品川区を刷新～

発行元 西本貴子事務所

〒140-0014 品川区大井7-2-13 TEL/FAX 03-5742-1146
<http://www.nishimototakako.com/> E-Mail : ta-ko_ns@d6.dion.ne.jp

“ありがとう”の気持ちで品川区の街に優しさと夢を
一人一人が輝く街をめざします！

女性の視点・力で 品川区を刷新！！

西本たか子の品川区への思い

●ママから政治家になって 5期19年目

キャリアウーマンとして外資系企業で全国飛び回っていた独身時代、家庭を持ち、長男を出産、子育てしながら仕事を続けるためには、保育園が必要でしたが入れる保育園がないという大きな壁に直面し、いかに女性の社会進出が困難か経験しました。保育事情が優れていると評判だった品川区へ移住、無認可保育所から認可保育園に入園できたときはとても嬉しかったことを今でも思い出します。品川区で3人の子どもを生み育てられたことを感謝していますが、公立保育園職員の労働組合運動に保育園の保護者連が巻き込まれ行政側と対立関係になっている状況を経験し、「これではいけない！子ども連のためにも区民と行政の協力関係が必要だ」とママ友パパ友を結集し区議会議員を目指し、政治の世界へ飛び込みました。



●無所属を買き、区民の皆様の 心に寄り添った19年間

政党にとらわれず、問題解決に向け、がむしやりに走ってきました。公約であった行政との架け橋となり正常関係に築けたこと、正しい情報を伝え、共に考え、政策提案をしてきました。芽が出たもの、花が咲いたもの、なかなか芽が出ない案件も沢山ありますが、諦めず、辛抱強く、追求してきた態度はこれからも変わることはありません。お一人お一人の問題は品川区全体の課題と捉えて、挑んでいます。現場主義、生活者目線で区政に切り込んで参りました。



●激変する社会環境で 未来の品川区に必要なのは 新しい風・女性の視点と力

激動する社会に立ち向かっていくには、社会の変化を敏感に察知し、区民の皆様の水先案内人としてスピード感を持って柔軟で極め細やかな区政運営が求められます。そのためには、**品川区のことを十分に知っていること、極め細やかな視点、生活者としての目線が必要**です。未来の品川区のために、品川区民の皆様のを第一にさらに活動を高めて参ります。

品川区議会議員として5期19年間の実績、民間企業で培った鋭い視点、働くママの温かい眼差しで品川区に新しい風を吹かせます。品川区のリーダーとして西本たか子にお任せください。

コロナ オミクロン株BA.5 潜伏期間は（NHK首都圏ナビより）

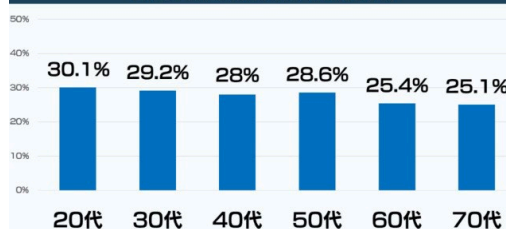
発症までの潜伏期間

(NHK 消費・経済部)



BA.4 BA.5に免疫持つ人の割合

(京都大 西浦教授の試算 7月20日時点)



茨城県潮来保健所によれば潜伏期間は、第6波で広がった「BA.1」の平均2.9日より半日短く、デルタ株の平均3.7日より1.3日短かったとしています。また、1人が発症してから、次に感染した人が発症するまでの期間も「BA.5」では0.67日と短く短時間に次々と感染が広がったという見方をしています。このことから3日の待機期間で良いのではないかと示唆され、今後、待機期間、濃厚接触者の対応も短くなるのではないかと考えられます。

陽性判明後の療養について

療養期間

発症日から10日間経過し、且つ、症状軽快から72時間経過していること
無症状で陽性の場合には検査日の次の日から7日間経過するまで
※症状軽快日・・・解熱剤を使用せずに37.5℃未満になり、かつ呼吸器症状が改善傾向にあると判断した日

(例) ・1月1日に発症した場合、1月7日までに症状軽快していれば1月11日に療養終了
・1月7日には症状が軽快せず、1月10日に症状軽快した場合には1月13日に療養終了
一貫して無症状である場合、検査をした日が1月1日であるならば1月8日に療養終了
※無症状の方が療養中発症した場合には発症日の次の日から10日間



後遺症で悩んでいませんか。 都立病院の「コロナ後遺症相談窓口」

病院	電話番号	受付時間
大久保病院	03-5273-7711 (代表)	午後2時～4時
大塚病院	03-3941-3211 (代表)	午後1時～4時
駒込病院	080-5933-4582 (相談窓口直通)	午前9時30分～11時30分
墨東病院	03-3633-6151 (代表)	午前9時～4時
多摩総合医療センター	042-312-9163 (相談窓口直通)	午前9時～11時
多摩北部医療センター	042-306-3161 (相談窓口直通)	午前9時～11時
東部地域病院	03-5682-5111 (代表)	午後2時～4時
多摩南部地域病院	042-338-5111 (代表)	午前9時～11時

羽田空港新ルート問題、真実を伝える

羽田空港新ルート固定化回避検討会で品川区の上空を飛ばなくなる事はありません

羽田空港新ルートとは

国は日本の観光、経済強化を目的に国際線増便が必要とし、都心上空から羽田空港へ着陸するルートの運航を始めました。南風時15時から19時までの間、品川区上空約300m付近を1時間に44便の旅客機が航行します。

羽田空港新ルートの問題点

- ・騒音問題
- ・落下物の危険性
- ・大気汚染
- ・威圧感

2020年3月29日から正式運航され、飛行ルート付近の住民の皆様から45件以上請願・陳情他、切実な声が品川区議会に届いています。

2020年6月から国は、羽田空港新ルートの技術的な検討をする 固定化回避検討会を開始

固定化回避検討会とは、品川区など関係自治体から新ルートの運航を固定化しないよう要望を受けて、現在のA.C滑走路の使用を前提とした上で、技術的観点から検討を行う目的に設置された検討会です。

4回の検討会で騒音軽減効果が高いと考えられる2つの方式が選定されました。



羽田空港着陸時(南風) 新ルート

東京新聞 web ニュース より抜粋

質問 羽田空港 A.C 滑走路の使用を前提としている。着陸するには直線ルートが必要。品川区の上空は必ず通ると思われるが。

答弁→地図に示すべきと主張するも明確な返答なし

質問 選定された2つの方式の安全性評価、運航に関する基準は現時点で全くない。このまま進めるのは疑問だ。

答弁→何時、策定できるかも現時点では言及できないと回答

固定化回避検討会は、品川区の上空を飛行しないことを検討したものではありませんでした。

結論 A.C 滑走路を使用する限り、品川区の上空飛行を回避することはできません !!

西本たか子プロフィール

- 1960年 11月 福島県いわき市生まれ
- 1981年 国立福島工業高等専門学校福島高専卒業
- 1981年 東京農工大学 工業化学専攻3年へ編入学
- 1983年 東京農工大学 工業化学専攻卒業
- 東京工業大学 生命科学科 研究生

- 1984年～1985年 東海理理工工業株式会社
- 1985年～2003年 アマハム/パイサイエンス株式会社

- 2003年 品川区議会議員 初当選
- 2007年 品川区議会議員 2期目当選
- 2011年 品川区議会議員 3期目当選
- 2015年 品川区議会議員 4期目当選
- 2018年9月 品川区長選挙出馬
- 2019年 品川区議会議員 5期目当選

【その他役職】

- 保護司 ● 自衛官募集相談員 品川区副支部長
- 福島県うつくしま福島浜通り会 副会長
- 品川区父母の連絡会 顧問

区民・行政・議会・企業
それぞれの立場を尊重し、
協働しあう品川区へ!

西本たか子の政治姿勢

あらゆる立場を 理解し傾聴 政党にこだわらずあらゆる立場の声をしっかり聞き区政に生かします。

正しい情報の伝達 しっかりと正しい情報を伝え共に考えていきます。

住民と行政との懸け橋 対立でなく支えあう関係、協働参画 できるよう架け橋になります。

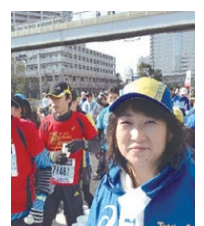
西本たか子は

区民の幸せ 応援団長

輝く街づくりのために



保護司として更生のお手伝い
(社会を明るくする運動の街頭宣伝)



第一回目から東京マラソンのボランティアに参加



父母連会長時代から20年間「ふれあい動物園」を開催